

ゆるキャラたちが真剣勝負

青森県全国ゆるキャラすもう大会



横綱・雲丹(右)と記念撮影するつがるちゃん

イオンモールつがる柏で9月15日、「ゆるキャラすもう大会」が行われ、県内の人気ゆるキャラたちの熱戦に、約1000人が詰めかけた会場は大歓声に包まれました。

この大会は、県内の特産品などを全国に広めていこうと実行委員会（荒谷政志代表）が主催したもので、2回目の今回は出場24体、応援団3体、行司役に県産品キャラクター・決め手くんが参加し、総勢28体のゆるキャラが集合しました。

開会式で福島市長が「郷土の願いが込められたゆるキャラの頑張りが、県全体のPRや地域の魅力の再発見につながることを願います」とあいさつし、トーナメント戦がスタート。1回戦から各地を代表する選手たちが名勝負を展開しました。つがるちゃんは大声援を受けながら健闘しましたが、初戦で敗退。決勝では初代横綱の貫録を見せつけた雲丹（うんたん）（佐井村）が福口ウ（東奥日報社）を破り、見事2連覇を飾りました。



解説を務めた元関脇・追風海の齊藤直飛人県議会議員



海外からも応援…？



白熱した試合で盛り上がりました

男女共同の視点で防災を学ぶ

参画まぐ・ねっとまつりinつがる市

快適な避難所づくりのポイントを講義する小山内氏



避難所ルールづくりに参加者



9月14日、「参画まぐ・ねっとまつりinつがる市」がイオンモールつがる柏で行われ、参加者が男女双方の視点を取り入れた防災のあり方について学びました。

「誰もが安心できる避難所づくり」と題した講義では県男女共同参画センター副館長の小山内世喜子氏が講師を務め、集団生活が基本の避難所の中で誰もが安心して過ごせる工夫について講演。避難所生活を想定したワークショップでは、参加者同士が真剣に避難所内でのルールづくりについて議論していました。

「参画まぐ・ねっと」は農業、まちづくり、子育てなどさまざまな分野で活動する西北地域の団体や個人がネットワークでつながり、男女共同参画の推進に取り組む組織で、この日は加入団体によるよさこい演舞や本の読み聞かせの披露、軽食販売コーナー設置などで、イベントを盛り上げました。

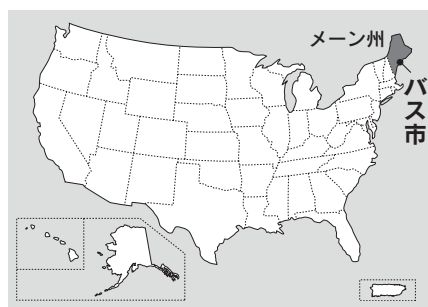
異国の文化を感じ絆深める

姉妹都市バス市へ訪問団派遣

姉妹都市米国メイン州バス市への訪問団が7月19日から7月29日まで11日間の日程で友好親善に努めてきました。今年は中学生9人、引率者3人計12人の団員が参加。一行は博物館や造船工場でメイン州の歴史を学び、カヤック体験や灯台見学などで自然を満喫しながら、異国文化を直接肌で感じました。また、折り紙や福笑いなどの日本文化の紹介やスポーツ交流を通じて、バス市の子もたちとの友好の絆を深めました。9月4日に松の館で行われた報告会では、団員一人一人がホストファミリーとの思い出や自身の体験談などを思い思いに発表しました。



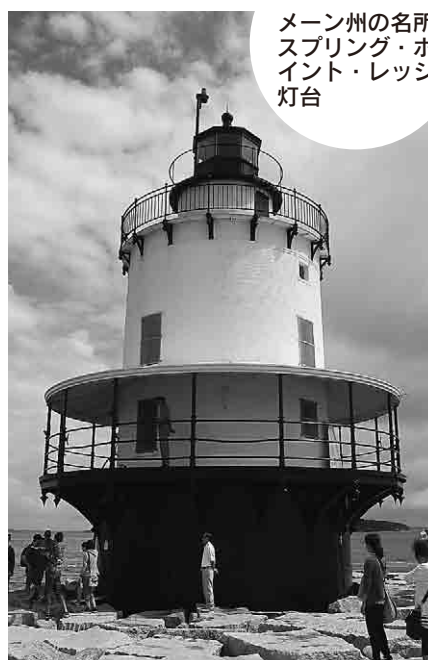
バス市内の施設
を見学する訪問
団の皆さん



ホストファミ
リーの温かい
歓迎



メイン州議
会でガベルを叩
いてみました



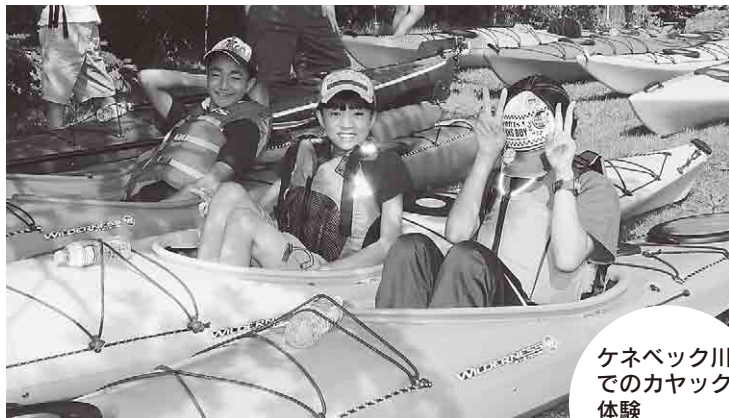
メイン州の名所
スプリング・ポ
イント・レッジ
灯台



日本文化体験
で「福笑い」
を教えました



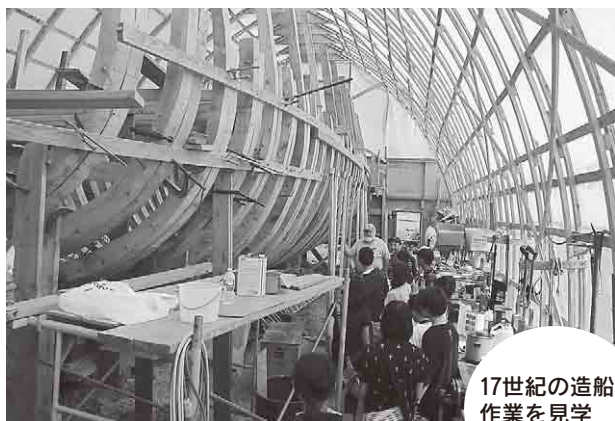
バス市長宅で
のホームパー
ティー



ケネベック川
でのカヤック
体験



本場の
ホットドッグ
作りに挑戦



17世紀の造船
作業を見学



グレース教会
でのさよなら
パーティー

バス市訪問を終えて

今回参加した団員のコメントを紹介します。



田村 琴音さん (稲垣中3年)

滞在中は特に不安なことはなく、楽しいことばかりでした。私は最高のホストファミリーに出会えました。また、会いたいです。

三上 陸君 (稲垣中2年)

普通の会話では聞き取れないことがほとんどでしたが、バスケットなどのスポーツを通して現地の子どもたちと仲良くなることができました。



對馬 美緑さん (木造中1年)

英語が難しくて会話が大変だったけど、優しいホストファミリーでよかったです。いい思い出がたくさんできました。



加福 雪乃さん (木造中1年)

ホストファミリーと海に行ったことやアイスクリームを手作りしたことが心に残っています。アメリカのスーパーで買い物体験もできて良かったです。



小栗山陸斗君 (木造中3年)

バス市の造船工場で「昔ここで造られた船がきっかけで僕達はここにいる」と感じました。今もなお続く造船産業に感謝したいと思いました。



松橋 映夢さん (車力中3年)

今回活動したことはこれからの生活に生かし、もっとアメリカについて学び交流したいと思います。また、いつかアメリカに行きたいです。



成田 恭君 (稲垣中2年)

発音の問題なのか、自分の英語はほとんど通じず、その分ジェスチャーでなんとかしました。英語を学びたいという意欲が高まりました。



亀海 紗季さん (木造中1年)

アメリカに行って、初めての体験や日本との文化の違いに気付くことができて良かったです。硬貨の使い方も学ぶことができました。



松橋 実咲さん (車力中1年)

行く前は心配もありましたが、普段できないような体験ができ、とても楽しかったです。また是非機会があったら参加したいと思います。

